



コンセプトは、ひらかれた大学。
音楽学部・研究科の防音ドアに大きな窓が
欲しい想いに東洋シャッターは応え、
一緒になって開発してくれました。



—— 大きな窓のある防音ドア「框窓付フラットタイプ」は、川見様のご要望から
生まれたそうですが、東洋シャッターとの付き合いは長いのですか。

いえ。これまでお付き合いは、まったくありませんでした。

—— そうでしたか。ではなぜ、東洋シャッターにご相談を。

新学舎の仕様決めでは、1社単独指名ではなく、複数のメーカーさんに声をかけを
させていただきました。その中に東洋シャッターさんもいらっしゃったというのが
始まりです。

—— 東洋シャッターを選ばれた理由は。

そのとき私が探していた理想の防音ドアを「できるかも」とおっしゃっていただけた
のが、東洋シャッターさんだけだったからです。大学のコンセプトが学生同士の交流
に加え、地域とのつながりまで大切に作る社会に開かれたもので、門がないなどの
特徴があります。防音が必須の音楽学部・研究科にも、教室の中が見える開かれた
コミュニケーションができる大きな窓が欲しい。また学生は、教室のドアを大きな楽器
を抱えながら片手で開けることも多いので、開閉が軽くて簡単な普通のドアにして
あげたい。遮音性能を満たした窓の大きな框ドアが理想でしたが見つからず、各社に
相談していました。

—— 大きな窓がある框ドアで音楽教室レベルの遮音性を確保するのは難しいと
思うのですが、実際できると思われましたか。

そうですね。窓もそうですがドアの質感と遮音の両立は難題だと思います。開発
期間もあまりなかったので、可能性は五分五分かなと。「なんとかします」とおっ
しゃっていただいていたのですが、ギリギリですぬという話をしていました。しかし
短い間で本当にいろいろなことを考え、スピーディに対応してくださいました。
記憶があいまいですが電話以外の正式な打ち合わせは5~10回、6ヵ月程度で実用
の見通しがついたはず。遮音性能実験での評価も出ていて、あとは部屋としての
音響性能試験が残っていますが、大丈夫だと思っています。

—— 東洋シャッターとの開発を終えた今の感想はいかがでしょう。

細かいところまで本当によくやっていただいたことに感謝しています。言葉はどうか
と思いますが「はやり」「きれい」が印象的でした。さまざまな対応をしていただい
たうえにレスポンスが良く、こちらの要望にも寄り添っていただけて、「一緒に作った」
感が強くなります。しかも、これだけのことをこのコストでできるというもおどろき
でした。

—— 本日は貴重なお話をありがとうございました。最後に東洋シャッターでは、
希望にかなう製品を「MAKE with」一緒につくろうという取り組みを始めているの
ですが、どう思われますか。

ええ、すごく時代に合っていると思います。資材の高騰や各種の規制など、建築に
とってはなにかと厳しいことも多いのですが、ラインナップから選ぶほかに、一緒に
つくるといのはいろいろな問題の解決にもなると思います。

インタビューのフルバージョンは[\[MAKE with スペシャルサイト\]](#)で公開中です。



遮音しながら、室内が見える安心

TSレバタイプに防災・防犯、見守りに安心の框窓付フラット
タイプが登場。グレモンとは違う、ロック不要のレバーハンドル
に加え、大きな窓で遮音等級T-2、3を実現。もちろん、框窓付以外
のラインナップも充実のTSレバタイプ。遮音等級T-2~T-6相当
の四方タイプやフラットタイプ、片開き、両開き、窓付、軽量タイプ
を用途に応じて選べます。



みなさまと一緒に作る、東洋シャッターの“MAKE with”に、どうぞご期待ください



東洋シャッター株式会社

本 社 〒542-0081 大阪市中央区南船場2-3-2 南船場ハートビル12F TEL.06(4705)2110
東京本社 〒103-0002 東京都中央区日本橋馬喰町1-14-5 日本橋Kビル6F TEL.03(3639)0551
<https://www.toyo-shutter.co.jp>

普段どおり閉めるだけで高性能を発揮する[\[アクションフリー\]](#)製品が掲載された、
東洋シャッター [MAKE with スペシャルサイト](#) (<https://www.toyo-makewith.com/>) は、右記QRからご覧ください。

